

主要産地における令和5年度水稲の生育状況等について 第4報 (令和5年6月12日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年6月12日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)																			
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する進捗等																					
北海道		【生育状況(6月1日現在)】 (金達) 移植作業は平年並に終了した。移植後の活着率は、生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月6日付) (空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月6日付) (石狩) 生育は平年並。(石狩振興局 6月6日付) (後志) 遅延は早1日。(後志総合振興局 6月6日付) (日高) 移植作業は前週に進んでいる。生育は平年並に推移している。(日高振興局 6月6日付) (胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月6日付) (渡島) 生育は平年並に進んでいる。(渡島総合振興局 6月6日付) (釧路) 生育は概ね平年並で推移。移植作業は概ね平年並で推移。(釧路振興局 6月6日付) (上川) 移植作業は平年並に終わる。生育は平年並である。(上川総合振興局 6月6日付) (網走) 生育は平年並に進んでいる。(網走振興局 6月6日付) (オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月6日付)	【全国】エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて、エルニーニョ現象が続く可能性が高い。(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 北海道太平洋側は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁札幌管区気象台)	令和5年度の品種構成の情報 「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和5年3月15日) (出典資料は以下同じ)																			
	(生育)																						
青森		・6月5日現在の田植進捗は、黒全体で100%となった。 ・黒全体の田植終わりは、平年並の5月29日であった。 (青森県 6月6日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「まつしぐら」及び「つがるモン」を中心とする品種構成となっている。																			
	(移植)																						
岩手		【6月5日現在】(生育概況) (本田生育) ・北上では、草丈は平年より長く、葉数はほぼ平年並、茎数は「あきたこまち」が平年より多く、「ひとめぼれ」、「銀河のしずく」は平年より少ない。 ・軽米(「いわてっこ」)では、平年と比較し、草丈がやや長く、葉数は多く、葉数は平年並であった。 (岩手県農業センター 生産基盤研究所生産システム研究室・東北農業研究所作物研究室 6月6日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。																			
	(移植)																						
宮城		【6月1日現在】 (大崎) 草丈は短い田場が多くなっている。葉数・茎数は上旬移植では平年を上回っているが、中下旬移植では平年を下回っている。5月は日照が多いが多く、田植後には穂欠が発生した田場では、初期の生育が停滞したと推察される。現在は平年並に回復してきている。(大崎農業改良普及センター 6月2日付) (奥里) 田植後は強風の日が多く、田植後穂欠発生が低減してきている。一部の田場では葉先枯れや活着不良が見られた。6月1日の生育調査結果では、葉数・茎数が平年・前年と比べ少なめの田場が多いが、活着に時間を要した田場も現在は、ほとんどの田場で回復しているため、今後は分けつが進むと思われる。(宮城県農業改良普及センター 6月1日付) (栗原) 田植時は、前年と比べ田植日、1㎡当たり茎数が平年並となった。6月1日調査は、前年と比べ、草丈は短く、葉数は多く、葉数は多くなっている。(宮城県農業改良普及センター 6月2日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。																			
	(生育)																						
秋田		【6月9日付】 (雄勝) 6月9日現在の水稲定点(あきたこまち8地点の平均)調査結果によると、草丈24.9cm、葉数5.7葉は平年並だが、葉数は94本/㎡と平年よりやや少なく推移している。 (秋田) 6月5日時点で田植作業は99.8%終了している。 (北秋田) 6月5日現在の田植作業の進捗は、99.7%(平年99.9%)。一部の大規模農家や法人では、6月10日頃まで続くことが予想される。 (秋田県農林政策課)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。																			
	(移植・生育)																						
山形		・6月9日現在の生育調査結果を平均した場合は、平均値「はえぬき」で、草丈は平年よりやや短く、葉数は平年より少なく、葉数は平年並。葉色は平年よりやや濃い生育となっている。 ・「つや姫」の生育は、草丈、葉数、葉色、葉色のいずれも平年より低い値となっている。 (山形おいしき稲め1米づくりプロジェクト本部 6月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「豊香丸」は増加傾向にある。																			
	(生育)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>調査値</th> <th>平年値</th> <th>平年比・差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>草丈</td> <td>27.4 cm</td> <td>29.3 cm</td> <td>94 短い</td> </tr> <tr> <td>葉数</td> <td>5.9 枚</td> <td>6.2 枚</td> <td>81 少ない</td> </tr> <tr> <td>葉色(SPAD)</td> <td>32.6</td> <td>34.3</td> <td>-8.3 やや少ない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1.9 やや濃い</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各農業者調査結果を平均した値</p>	項目	調査値	平年値	平年比・差	草丈	27.4 cm	29.3 cm	94 短い	葉数	5.9 枚	6.2 枚	81 少ない	葉色(SPAD)	32.6	34.3	-8.3 やや少ない				-1.9 やや濃い	
項目	調査値	平年値	平年比・差																				
草丈	27.4 cm	29.3 cm	94 短い																				
葉数	5.9 枚	6.2 枚	81 少ない																				
葉色(SPAD)	32.6	34.3	-8.3 やや少ない																				
			-1.9 やや濃い																				
福島		【6月6日現在】水稲作柄解析試験における生育状況(平年比・差) ・「コシヒカリ」(郡山 5月15日移植) 草丈: 94%、葉数: 90%、葉齢: -0.2 (会津 5月18日移植) 草丈: 115%、葉数: 96%、葉齢: -0.1 (浜 5月10日移植) 草丈: 99%、葉数: 96%、葉齢: -0.1 ・「ひとめぼれ」(郡山 5月15日移植) 草丈: 95%、葉数: 95%、葉齢: -0.3 (会津 5月18日移植) 草丈: 114%、葉数: 79%、葉齢: 0.1 (浜 5月10日移植) 草丈: 95%、葉数: 103%、葉齢: -0.2 (福島県農業総合センター 6月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月18日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 梅雨入りは6月11日頃(速報値) (気象庁)	「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつゆ」が増加しており、飼料米への転換が増加していることと比較してやや低下したものの、まだ増加が見込まれる。																			
	(育苗)																						
茨城		【5月31日現在、水戸市】 (5月1日移植) 主稈葉数の展開からみた生育 ・「あきたこまち」及び「ふくまるS」で平年より1日早く、「コシヒカリ」で平年並。 (常大) 「あきたこまち」で平年並、「ふくまるS」、「コシヒカリ」で平年よりやや短い。 ・(葉数) 「あきたこまち」は、草丈がやや高く、葉数が少なく、「コシヒカリ」で少ない。 ・(葉色) 平年並。 (5月8日移植) 「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育 ・平年より1日早い。草丈やや短く、葉数は平年並である。(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月5日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 梅雨入りは6月8日頃(速報値) (気象庁)	「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、多収米への作付け移行が進んでいる。																			
	(生育)																						
栃木		【6月5日現在、龍ヶ崎特作】 (4月27日移植) 主稈葉数の展開からみた生育 ・「あきたこまち」で平年より2日遅く、「ふくまるS」で1日遅く、「コシヒカリ」で4日遅い。 ・「あきたこまち」は、草丈が平年並、葉数が極少なく、葉色が濃い。 ・「ふくまるS」は、草丈が平年並、葉数がやや少なく、葉色が濃い。 ・「コシヒカリ」は、草丈がやや高く、葉数が少なく、葉色が濃い。 (5月8日移植) 「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育 ・平年より4日遅い。草丈が低く、葉数が極少なく、葉色が平年並である。(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月6日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 梅雨入りは6月8日頃(速報値) (気象庁)	「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、サリアール品種「とちぎの星」が増加傾向にある。																			
	(生育)	【5月29日現在】(本田調査) ・「コシヒカリ」 ・草丈は前年並みで、葉数は西部県境、鹿沼、農試で多く、それ以外の地区はやや少なくなった(農試は前年より移植時期が4日早いめ多くなっている)。葉数は全県平均で0.2葉減っている。 (栃木県農政経営技術課 5月29日付)																					

千 葉	<p>(生育状況等)</p> <p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月下旬は低温で日照時間も少なかったため、生育の遅延（葉色の進み）は平年並だが、茎数はやや少なめで、平年品種の草丈はやや短くなっている。葉色は平年並に推移している。 例年より、還元期等の発生しているほ場が多く見られる。全体的な茎数確保は遅れているが、補欠付けが早く初期生育が順調だったほ場では、中干しを始める時期に入っている。 <p>(生育)</p> <p><葉色の進み（平年比）> 「ふさおとめ（4月20日種）」や、「コシヒカリ（4月20日種）」並、「コシヒカリ（4月20日種）」並、「コシヒカリ（5月1日種）」並、「旭付（4月20日種）」並。 （千葉県 6月5日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東管区気象台）</p> <p>梅雨入りは6月8日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっており、令和2年度から新品種「新すず」の品種栽培が開始
新 潟	<p>【6月8日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」では指標値（生育のめやす）に比べ、草丈、茎数、葉数の進み、葉色とも「並」の生育状況。低温や強風などによる生育停滞が少なく、茎数は順調に増えている。 「コシヒカリ」の茎数は、県の調査ほ（田植えの平均は5月11日）の平均値では191本/m(目標種数350本/mの55%)となっており、数日で中干し開始の遅期に入ると見込まれるが、既に中干し遅期に入っているほ場もある。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「淡い」状況。 （新潟県農林水産部 6月9日付） <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>梅雨入りは6月11日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量率の高い「ゆんすん子種」「つきあかり」及び「ゆんすん種」が増加傾向にある。また、葉では新品種「新之助」が増加傾向にある。
富 山	<p>【6月5日現在】（生育観測ほデータ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」平年に比べ、草丈、葉数、葉色は、茎数はやや多くなっている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は、茎数はやや多くなっている。 「てんたかく」平年に比べ、草丈、葉数、葉色は、茎数はやや少なくなっている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は、茎数はやや少なくなっている。 「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉色は、茎数はやや少なく、葉数は0.4葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや多く、葉色は並となっている。 「富富富」近年に比べ、草丈はやや長く、茎数、葉色は、葉数は0.2葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、茎数は多く、葉色は並となっている。 （富山県 6月7日付） <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>梅雨入りは6月11日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも生育が安定した品種「ひやくまん殿」が増加傾向にある。
石 川	<p>【6月8日現在】</p> <p>(草丈)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」：平年比85～134%（県平均107%、加賀：104%、能登：110%） 平年並～長く、前年と比べてやや長い。 「ゆめみづほ」：平年比90～121%（県平均109%、加賀：105%、能登：112%） 平年と比べてやや長い～長く、前年と比べて長い。 「ひやくまん殿」：近年比89%～129%（県平均108%、加賀：112%、能登：103%） 近年並～長く、前年と比べてやや長い～長い。 <p>(葉数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」：平年比78～159%（県平均104% 加賀：105%、能登101%） 平年及び前年並。 「ゆめみづほ」：平年比84～168%（県平均111%、加賀：104%、能登129%） 平年及び前年並に比べて並～多い。 「ひやくまん殿」：近年比72～189%（県平均14%、加賀：105%、能登129%） 近年及び前年並に比べて並～多い。 <p>(葉緑)</p> <ul style="list-style-type: none"> 葉齢差関係は、「コシヒカリ」は平年及び前年並。「ゆめみづほ」も平年及び前年並。「ひやくまん殿」は近年及び前年と比べ2日程度早い。 <p>(石川県農林総合研究センター農業試験場 6月9日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>梅雨入りは6月11日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、葉がリアルな品種の「ひやくまん殿」が増加傾向にある。
福 井	<p>【6月7日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先週から今週にかけての茎数増加が緩慢で、全ての品種で茎数が平年より少なくなっている。 「ハナエチゼン」では茎数を確保し、すでに中干しを開始したところもあるが、生育量は圃場によって異なっている。 （水田農業レベリング委員会技術普及部会 6月9日付） <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>梅雨入りは6月11日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年、葉がリアルな品種「いちばま丸」が増加傾向にある。
長 野	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東管区気象台）</p> <p>梅雨入りは6月8日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきさかり」を中心とする品種構成であるが、近年、葉がリアルな品種「風さやか」の導入を推進している。 	
滋 賀	<p>【水稲作況調査（5月31日時点）による】</p> <p>(草丈)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みずかがみ」「コシヒカリ」とも平年より長くなった。 (葉数) 「みずかがみ」「コシヒカリ」とも平年並であった。 (葉緑) 「みずかがみ」「コシヒカリ」とも平年並であった。 <ul style="list-style-type: none"> 今年から調査を開始した中生品種の「きらみずき」の草丈、茎数、葉数はそれぞれ、28.0cm、151本/m、6.0枚であった。 （滋賀県農業技術振興センター 6月9日付） <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>梅雨入りは5月29日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。
兵 庫	<p>【5月29日時点】</p> <p>(県 北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県 南) 現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(育苗・生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>梅雨入りは5月29日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「きぬむすめ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 （岡山県 5月30日付） <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>梅雨入りは5月29日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「きぬむすめ」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月10日～7月9日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>梅雨入りは5月29日頃（速報値） （気象庁）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。 	

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【2023年度「ひめの涙」の生育状況（6月9日現在）】</p> <p>(5月22日移植)</p> <p>・草丈(cm) 24.3、茎数(本/㎡) 88、一株あたり茎数(本/株) 5.8、葉色(SPAD値) 35.8</p> <p>(生育)</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>梅雨入りは5月29日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「たまご」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「たまご」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>【5月月報】</p> <p>(早期稲) 分けつ期 時期：並 ・夜温がやや低めで経過した時期があったことから、分けつ数はやや少ないが、概ね順調に経過している。</p> <p>(普通期稲) 育苗期～活着期 時期：並 ・移植は5月10日頃から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 ・一部で育苗期間中に苗いもちの発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>梅雨入りは5月29日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【5月16日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)◇ ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 ・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。</p> <p>【普通期水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)◇ ・現在、6月上旬稲え用の種まき及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>梅雨入りは5月29日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>梅雨入りは5月29日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」を中心とする品種構成である。はりーデイング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>【作物の生育状況（5月中旬）】</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>梅雨入りは5月30日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか389」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の経過】 6月10日～7月9日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の経過】 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>梅雨入りは5月30日頃(速報値)(気象庁)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつづか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を掲載欄情報部で取り纏め。
注2：令和5年6月12日 11時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道農政部 6月6日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月6日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月6日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月6日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 6月6日)、
令和5年度水稲生育定期調査結果No.1(岩手県農業研究センター 6月6日)、
令和5年度大崎稲作情報第2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月2日)、
令和5年度美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月1日)、
栗原の稲作通信令和5年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月12日閲覧)、
米づくり技術情報No.5(山形おししき極める!米づくりプロジェクト本部 6月9日)、
2023年水稲作柄解析試験における生育状況(福島県農業総合センター 6月9日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月5日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 6月6日)、
水稲生育診断速報No.1(栃木県農政部経営技術課 5月29日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月5日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第2号)(新潟県 6月9日)、
TACS情報第2号(富山県 6月7日)、
令和5年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
稲作情報No.6(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月9日)、
令和5年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月8日)、
令和5年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県農林水産部 6月5日)、
令和5年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月30日)、
2023年産「ひめの凛」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 6月9日)、
病害虫発生予察情報について 令和5年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月19日)、
令和5年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月8日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月8日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月8日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月8日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月8日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月8日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月8日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月8日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月8日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月23日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月23日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月23日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月23日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月23日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月23日鹿児島地方気象台)、

令和5年の梅雨入りと梅雨明け(速報値)(気象庁)、
早期天候情報(6月8日14時30分 気象庁)、
エルニーニョ監視速報(Na.369)について(気象庁 6月9日)、

令和5年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)